

高山西ロータリークラブ 創立1966年1月15日

例会報告

Rotary 

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988

大垣共立銀行高山支店 4F

- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 杉山 和宏
- 会報委員長 堀 幸一郎

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

第2804回例会
令和8年1月30日

クラブアッセンブリー・会員スピーチ例会

<会長の言葉>

少し前にカリタン・カリコ博士（ハンガリー 女性）とドリュー・ワイスマン博士（アメリカ 男性）の記事を見ました。お二人は、新型コロナワクチンの基礎技術を開発した研究者で2023年ノーベル生理学・医学賞を受賞されました。新型コロナワクチンは、私たちの日常を取り戻す大きな力となりましたが、その裏にあった研究は、決して順風満帆なものではありませんでした。当初は「実用性がない」と言われ、研究費もなかなか集まらず、評価されない時代が長く続いたそうです。それでもお二人は、「いつか人の役に立つ」と信じ、研究を続けてこられました。そして、その“続けてきた研究”が、世界的な危機の中で、多くの命を救う結果につながったのです。私はこの話を読んだとき、改めて「継続は力なり」という言葉の重みを感じました。先日グループラインで回りましたスキークロスの新井真季子さんのお話もまさにこの言葉が当てはまるところだと思います。素晴らしい功績を認められた方々に共通しているのは、「継続する力」と「高い目標」を持ち、実現に向けて創意工夫されている事ではないかと思います。年齢を重ねると体力が低下します。そして体力は気力と比例すると言われているようですが、それに抗いいつまでも何かを継続する気力を持ち続けたいですね。当クラブも34年間『9ヶ年皆出席表彰』を続けています。そしてそれぞれの年度で、財団補助金事業など新しい取り組みにも挑戦しています。継続と新しい挑戦と上手くかみ合う活動を続ける事が大切に思います。



<幹事報告>

- ◎台北東海RCより
花蓮災害義援金感謝状
- ◎ガバナー事務所より
・地区運営資金増額のお願い
- ◎新井 典仁さんより休会届け



<例会変更>

高 山	…	日 時	2月12日(木)	規定期会
高山中央	…	日 時	2月2日(月)	19:00~
	理 由		節分例会	
	会 場		飛驒総社および 山陣	
	日 時		2月9日(月)	休会
	理 由		定款により	
	日 時		2月23日(月)	休会
	理 由		定款により	

可児 … 日 時：2026年2月5日(木)
点鐘12時30分

- 理 由：例会場変更の為
- 場 所：カフェレストラン「イマコヤ」
- 日 時：2026年2月19日(木)
- 点鐘12時30
- 理 由：例会場変更の為
- 場 所：カフェレストラン「イマコヤ」
- 日 時：2026年2月12日(木)
- 理 由：休会（定款により）
- 日 時：2026年2月26日(木)
- 理 由：休会（定款により）

美濃加茂 … 日 時：2月20日(金)シティホテル美濃加茂
→明智ゴルフ俱楽部賑済寺ゴルフ
理 由：外部例会場利用のため

<出席報告>

出 席	Make-Up	出席者数	会員数	出 席 率
24名	—	24名	40名	63.15 %

岩本 正樹 AG ご来訪

【地区資金の地区賦課金】の値上げのご説明いただきました。

現行：19,730 円 ↓
改定後：23,230 円 (+3,500 円)



地区的健全な運営と奉仕活動のさらなる充実を図るための措置であり、会員の皆様にとりましても、より意義ある活動を継続していただくための基盤整備と考えております。なお、委員会等の運営経費につきましては、各種のセミナーをマイロータリーのラーニングセンターを利用したり、zoom にして会場費や交通費、さらには登録料の負担を削減したり、委員会の委員の人数や、会議の回数を減らす、等の削減策を推進致します。上記増額につきましては、RI 細則 15.060.2.に基づき、2026年3月14日開催予定の会長エレクトラーニングセミナー(PELS)におきまして各クラブのご承認を頂きたいと考えております。今こそ、地区全体で力を合わせ、健全で継続可能な運営を築く大切な時期であると考えます。何卒、温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

例会報告

・公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会より

米山奨学事業寄付された
古橋さんに感謝状贈呈



<本日のプログラム>

クラブアッセンブリー（前会続き）

S.A.A 下屋 勝比古

毎回の例会が、会員の皆様に実り多いものとなるよう、時間厳守と円滑な進行にご協力をお願いするとともに、SAAとして、会場の秩序と品位の保持に努めてまいります。
今年度の取り組みとして、奇数月第一例会でシャッフルディと握手ディを行いましたが、好評につき後半戦は、全ての第一例会にて行います。
引き続き、伝統と品格ある当クラブの例会づくりへのご協力をお願いいたします。



クラブ管理運営部門 部門長 田中 晶洋

今年度クラブ運営部門の部門長の田中晶洋です。親戚の葬儀の為文書で失礼します。
クラブ運営部門は会報・雑誌・広報委員会の堀委員長、親睦活動委員会の大屋委員長・ニコニコ委員会の内田委員長、出席・プログラム委員会の水梨委員長で半期運営してまいりました。
各委員長さんそれぞれに頑張って頂きました。会報雑誌広報委員会は堀委員長のAIやネットのセキュリティに関する卓話でした。専門的な知識から興味深い卓話をしていただきました。親睦委員会はゆかた例会、天満神社の社務所でワインやビールの利き酒など楽しい企画で盛り上がりました。ニコニコ委員会は内田委員長のお知り合いで仏師の高田慈眼さんの卓話でした、公開される映画も楽しみになる内容の卓話でした。出席プログラム委員会は夜例会で忘年会を企画して頂きました。景品もたくさん用意していただいて大変盛り上がりました。それぞれの委員長さんが個性を生かして担当例会を盛り上げていただきました。
後半も引き続き各委員長さんには頑張って頂けると思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

雑誌・広報委員会委員長
堀 幸一郎



【横組み 5 ページ】

日本が誇る工芸技術はいま

— 輪島塗工芸師たちが切り開く新たな物語 —

本記事は、日本を代表する伝統工芸であ

る輪島塗の歩みと、次の世代へつなぐとする職人たちの挑戦を紹介しています。輪島塗は室町時代に起源を持ち、「本塙地（ほんかたじ）」や「布着せ（ぬのきせ）」といった独自の技法によって、丈夫さと美しさを兼ね備えた漆器として育まれてきました。分業制に

会員増強委員会
委員長 平 康裕



会員増強委員長の平です。
今年度半年が過ぎましたが見山さん、竹中さんの2名の方が入会していました。
また、11月には 現高山YEGの会長尾上玄さんを迎えて卓話をお願いしました。
あと残すところ半年ですが少しでも入会いただけるように 皆さんからの情報提供よろしいお願いします。

ロータリー財団委員会
委員長 鴻野 幸泰



基本方針は、「常にロータリーに新しい情報（RI）（地区）の事を全員に知らせる」です。年間計画は、担当例会と新会員の研修です。担当例会は、去年の11月21日に地区の研修・学習委員会 委員長 北川由幸さんにスピーチをしていただきました。
新会員の研修会は、5月頃に今のところ2名の方を対象に行います。

職業奉仕委員会
副委員長 佐藤 貴史

委員長の高井さんが所用により本日欠席のため、佐藤より代理で報告させていただきます。現状今年度の活動はしておりませんが、今後の活動として期初に掲げた基本方針に沿い福祉関係の小規模事業所を訪問し、現場見学、体験し、そこで学んだ内容を次回の担当例会で発表し情報共有することで、魁夷の皆様の介護福祉業界に対する知識・意識を高めていきたいと考えております。以上で発表を終わります。

社会奉仕委員会
委員長 井口 大輔



[地域の課題に向き合いつつ、多様な角度から持続可能な社会貢献を考えます]

という方針のもと、今年度は飛躍だけでなく国内の大半企業が抱える担い

手不足を補ってくれるかもしれない海外実習生・特定技能実習生制度。でも会話をはじめコミュニケーション・生活習慣等といった不安がある中、昨年弊社で初めて採用したインドネシアの実習生2人を例会講師に招き、自己紹介・日本にきた理由 インドネシアと日本の違い 等々を話してもらうことで、彼らをより知って頂くことで会員各社様にもより認知して頂こうという企画をさせて頂きました。またインドネシアは民の90%がイスラム教ということで宗教上[豚肉]が食べられません。当日は豚肉NGの昼食にてお願いしていますので、併せて楽しみにしていてください。

例会報告

国際奉仕委員会 委員長 野尻 陽子

国際奉仕委員長、野尻ですが本日は欠席で大変申し訳ありません。国際奉仕委員会の基本方針は、国際奉仕活動の実情の理解と、求められる活動について学ぶ。

台北東海ロータリークラブの来高に際し、国際親善・友好を深める場として活かし、相互交流・親睦をより深める、というものです。委員会では、10月に当クラブの60周年記念式典にあわせて来高していただいた、台北東海ロータリークラブの皆様と、前日の歓迎会・前夜祭を「洲さき」さんで行いました。台北の方との事前の歓迎会・式典等のやり取りの中で、当日、台北東海ロータリークラブの方々にお会いするまで、不安でいっぱいでしたが、会長・幹事をはじめ委員の皆様のご協力のもと、とてもよい雰囲気の中で歓迎会を行うことができました。翌日の式典・その後の台北東海ロータリークラブ様との二次会等もあわせて、台北の方々との友好の場となり、親睦を深めることができたのではないかと思います。

又、6月の台北での国際大会もありますので、引き続き、台北の方々との窓口として、お役に立てればと思います。

4月の担当例会の際にはまた、基本方針に沿ってゲストの方のお話を模索しております。よろしくお願ひいたします。

青少年奉仕委員会
委員長 田邊 淳

基本方針

- ・基本教育課程における皆出席を達成した生徒への報償
- ・キャリア教育を考える会の出前講座に参画し青少年が将来考える機会を作る。

2025年7月に、国府中学校にて出前講座を実施し、大変好評を頂きました。来月20日の担当例会では、日枝中学校の牛丸校長先生をお招きしての担当例会3月には9か年表彰にて、メンバー皆さまのご協力をお願い致します

60周年実行委員長 堀 和信

昨年10月5日に開催しました創立60周年記念式典・記念講演及び祝賀会は、皆様のご協力によりまして盛大に終えることができました。また、11月2日に行いました記念事業「荒野に希望の

灯をともす」の映画上映におきましては、600人近い市民の方々に見ていただき大成功に終えることができました。有難うございました。現在、記念誌の作成をしておりますが、記念事業開催の当日の写真を撮ることを忘れていました。どなたか、携帯電話でお撮りになられた方がありましたら私にお知らせください。

よろしくお願ひいたします。

<会員スピーチ>

竹中 勝信

高山赤十字病院の今と未来

「偶然を運命に変え、飛騨の

医療を次世代へ繋ぐ」

改めまして、こんにちは。高山

赤十字病院の竹中でございます。

この度、伝統あるロータリーク

ラブの会員としてお迎えいただ

きましたこと、心より光栄に存

じます。本日は「卓話」の場を

いただきました。私自身「オタク」な気質もございますので、あり

のままの病院の現状を、ユーモアを交えながら、しかし中身は真剣

にお話しさせていただこうと思います。



【医療現場を変えるAIとDXの潮流】

最近、私のパソコンの中には「チャッピー」という名のAI (ChatGPT) が3人ほど住んでおり、私の執筆活動の相棒となってくれています。実は、こうしたデジタル技術の波は、すでに医療の核心部にまで到達しています。『ロータリーの友』11月号でビル・ゲイツ氏が寄稿していた通り、今後20年でAIは医療、農業、教育を劇的に変えるでしょう。当院ではすでに、岐阜大学病院と手術室をリアルタイムで結ぶ遠隔指導システムを導入しています。高山の手術室の映像が大学病院へ飛び、教授から「そこは安全だ」「そこは気をつけろ」と即座に指導が入る。これにより、地方にいても最高水準の医療安全を担保することが可能になりました。また、三市一村からの多大なご支援により導入された手術支援ロボット「ダヴィンチ」も、1月には第一例目が大成功を収めました。「高度な手術のために富山や岐阜まで行かなくていい」——その安心をこの飛騨の地で実現できているのは、デジタルの力に他なりません。

【「おもてなしの医療」と赤十字の使命】

観光都市・高山ならではの特色として、外国人診療の多さが挙げられます。年間約600名の外国人が受診されますが、特筆すべきは「未収金ゼロ」という点です。病院一丸となって「おもてなしの医療」を徹底し、最後には感謝状や、時にはオーストラリアの方からワインや寄付金をいただくこともあります。そして赤十字の真骨頂は「災害医療」です。能登半島地震の際もそうであったように、有事の際に真っ先に駆けつけるのが私たちの使命です。救急、地域医療、そして災害。この三本柱を支えるのは、やはり「人間を救うのは人間だ」という赤十字の泥臭いまでの人の第一主義なのです。

【病院経営の厳しい現実】

しかし、理想を支えるための経営環境は、今や「真っ赤っか」の危機的状況にあります。全国の公立・公的病院の多くが赤字に苦しんでおり、当院も年間110億円の事業規模に対し、多額の赤字を抱えています。なぜ病院は儲からないのか。それは医療が「サービス(人)」で提供されるものであり、かつ国が決めた価格(公定価格)で運営されているからです。私たちは「食は治療なり」と考え、飛騨産の美味しいお米にこだわっていますが、昨今の物価高騰で米価は3倍、光熱費も跳ね上がっています。また、現在の建物は築40年を超えて、老朽化が深刻です。診察中に下水管が破裂し、コバエと戦いながら外来を行うといった、笑うに笑えない事態も起きています。医療を継続するためには、この老朽化したインフラへの投資が急務なのです。

2025-2026年度
高山西ロータリークラブ テーマ

「60年の歩を想い、次の一步を踏み出そう」

例会報告

【偶然を運命に変える、これからの100年】

私は25年前にこの高山の地にやってまいりました。アメリカのバージニア州シャーロットビルという、高山とそっくりの美しい街で学んだ経験を経て、この地に導かれたことに、単なる偶然ではない「運命」を感じています。現在、組合病院や地域の開業医の先生方、そして行政の皆様と手を取り合い、「飛騨地域の医療を強化する協議会」を立ち上げる準備を進めています。新病院の建設についても、山下昭先生をはじめとする多くの方々から多額の寄付という名の「呼び水」をいただいております。新病院建設には、一床あたり1億円、全体で300億円から350億円という気の遠くなるような資金が必要ですが、これを成し遂げなければ飛騨の未来はありません。私たちは今、医療版の「ふるさと納税」の活用など、新たな仕組みづくりにも挑んでいます。

【結び】

最後になりますが、私たちの目標は、最新のAIやロボットを使いこなしながらも、最後の最後には「温かい、優しい心」で患者さんに接することができる人材を育てることです。建物への投資、人材への投資、そして未来への投資。これらは病院単体で成し遂げられるものではありません。ロータリアンの皆様をはじめ、地域社会全体で支えていただかなければならぬ「共通の財産」です。未来の高山市民のために、信頼される医療を継続して提供し続けることを誓いし、私の卓話をさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

未来の高山市民のために当院は、

温かい、優しい心の人材育成します
市民から信頼される医療を提供します

高山赤十字病院への寄付をよろしくお願ひします

- ・建物の老朽化に投資したい
- ・人材に投資したい
- ・未来へ投資したい

赤十字病院の理念

「災害医療・救急医療・地域医療等の面から地域に貢献することを通じて、赤十字の理念の実践や赤十字思想の普及に努める」

赤十字病院グループの基本方針

- 1 質の高い医療の提供
- 2 災害医療・国際活動の充実
- 3 地域に相応しい医療提供体制の維持
- 4 患者満足度の向上
- 5 赤十字病院間における相互協力・連携の強化
- 6 各赤十字事業への協力
- 7 働きがいのある職場づくり
- 8 人材の確保と育成
- 9 健全な経営

〈ニコニコボックス〉

●門前庄郎さん・杉山 和宏さん

本日のゲスト 国際ロータリー第2630地区アシスタントガバナー 岩本 正様のご来訪を心より歓迎いたします。
また、会スピーチとして竹中 勝信さんより卓話をいただきます。
楽しみにております。

●濃飛ループAG 岩本 正樹様

本日はよろしくお願ひいたします。

●下屋勝比古さん

イタリアミラノ・コルティナオリンピック スキークロス日本代表に山王小⇒日枝中⇒高山西高校卒業 新井 真季子さん選ばれました。2月20日スタートライン無事に立てるように！！！
がんばれ！！！日本

●塚本 直人さん

大寒波と言われながら高山はこの程度でありがたいです。
岩本アシスタントガバナーのご来訪を歓迎いたします。
竹中さんの卓話を楽しみにしています。
よろしくお願ひいたします。

●挾土 貞吉さん・内田 幸洋さん・古橋 直彦さん

米澤 二さん・田中 武さん・鴻野 幸泰さん
垣内 文さん・田邊 淳さん・榎坂 純一さん
井口 輔さん・堀 幸一郎さん・大屋 尚史さん
熊谷 志さん・村口 拓也さん

第51回衆院選が始まりました。

地元からの出馬が無いのでさみしいですが、今後の日本の進路が決まります。
大いに関心を持ちましょう！！！

60年の歩を想い、次の一步を踏み出そう！」